

式辞

春風に舞う桜の花びらと校舎を取り巻く久徴園の木々の緑が、春の光に映える爽やかな季節となりました。本日この佳き日に令和7年度島根県立出雲高等学校入学式を執り行うにあたり、PTA 会長 安里隆司様、久徴会会長 土井豆勝磨様をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席を賜り、入学生への祝福と激励をいただけますこと、厚くお礼申しあげます。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様のご尽力に、衷心より敬意を表するとともに、私ども教職員に課せられた責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。皆様のお子様へ寄せる思いを真摯に受け止め、私ども教職員はお子様の大きな成長を目指して教育活動に取り組んでまいります。どうか、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

ただいま入学を許可しました、269 名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本校の在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎いたします。

皆さんが入学しました出雲高校は、大正9年（1920年）に創設された島根県立今市高等女学校をその前身としており、現在に至るまで100年以上の歴史と伝統を有しています。創立以来、県下有数の進学校として着実に実績を積み重ね、卒業生は国内外のあらゆる分野において、活躍されています。

さて、今日から皆さん一人ひとりが、本校の大切な生徒です。出雲高校生としての自覚と、これまでの歴史を受け継ぎ、次の100年に向かって新たな伝統を築くという気概を持って、澁瀨と活力ある高校生活を送ってください。

本日から本校で過ごすこの三年間は、今後の皆さんの人生において大変大きな意味を持つ時期であることは言うまでもありません。そこで、皆さんを迎えるにあたり、今日はお出雲高校生として期待することを2点お話しします。

1点目は、本校の基本精神である「久徴の精神」をしっかりと理解し、確かに学び、健やかに成長してほしいということです。本校では、「至誠」を重んじる「久徴の精神」を教育理念として大切にしています。

「久徴」とは中国、儒教の四書の一つである『中庸』の一節で、「至誠息むこと無し。息まざれば則ち久し。久しければ則ち徴有り。」からきていますが、これは誠実な心と態度を忘れることなく生活することで、内面が充実し、その徴、つまり努力の成果や人としての徳が外ににじみ出てくることと、私は理解しています。

出雲高校の教育目標とスクールポリシーからなる「グランドデザイン」にも示していると

おり、「至誠」すなわち誠実な心と態度で、理数科や普通科における各教科の授業、スーパーサイエンスハイスクール事業、そしてキャリア教育、生徒会活動や部活動などの課外活動といった「四つの光」といわれる、生徒育成のための四本柱となる取組を通して、「主体性、協働性、探究性、社会性」を磨き高め、本校における学びのスローガンである「自立・協働・挑戦」の姿勢を育んでももらいたいと思います。そこで肝要となるのが、何事にも誠実であること、悩みや迷いがあったとしてもごまかすことなく、誠実さを貫くことです。

2点めは「多様な学びや体験のできる本校で、臆することなく果敢に挑戦してほしい」ということです。「自立・協働・挑戦」という、これまで受け継がれてきた本校の学びのスローガンの一つでもあります。私事で恐縮ですが、本校37期の卒業生であり、40数年前、今日の皆さんのように高校生活への期待と不安が交錯するなか、緊張しながらこの場におりました。当時を振り返ると、挑戦した後悔よりも挑戦しなかった後悔はるかに多かったように思います。この年齢になってようやく、「失敗が人間を駄目にするのではなく、失敗を恐れ、失敗にこだわる心が人間を駄目にするのではないか」と、気づいたのです。

挑戦するかしないかは、本人次第ですが、本校においては、授業や探究的な学び、生徒会活動や学校行事、部活動などの課外活動、研修旅行をはじめとする国内外の人々との交流活動など、誰にも等しく挑戦の機会が与えられます。進取果敢に挑戦し、多様な経験を積み重ね、学びの質を高め、さらなる成長につなげてください。

ただ、高校生活は順調なときばかりではありません。悩んだり困ったり、つまづくこともあるでしょう。そんな時は身近な人を頼ることも必要です。友人、家族、そして教員に相談したり、胸の内を語ったりしてみてください。そうすることで、自分の気持ちが整理され、悩みや困りごとの原因が明らかになり、その対応策が浮かんだりするものです。自立するためにも、ぜひ周囲の力を活用してほしいと思います。

結びに、新入生269名の皆さんが「久徴の精神」を胸に、大いなる志の実現に向けて、この出雲高校で「進取果敢に挑戦する」姿勢を持って、豊かな学びと健やかな成長を遂げる高校生活を送ってくれることを期待するとともに、私たち教職員が一丸となってそれを支えるために尽力することをここにお誓い申しあげ、式辞といたします。

令和7年4月9日

島根県立出雲高等学校 校長 小林 努